

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

2021年11月11日

株式会社SRAホールディングス
代表取締役社長 鹿島 亨



第2四半期決算概要

今後の取り組み

第2四半期決算概要

業績/前年同期比較

- 売上高: 横ばい
- 粗利益 : 増益
- 販管費: 減少
- 営業利益: 増益
- 経常利益: 増益
- 四半期純利益: 増益

単位: 百万円

	2021年3月期 第2四半期実績	2022年3月期 第2四半期実績	差 異	対前年同期比
売上高	19,155	19,038	△117	△0.6%
粗利益	4,468	4,626	+158	+3.5%
粗利益率	23.3%	24.3%	+1.0%	
販管費	2,299	2,238	△61	△2.7%
販管费率	12.0%	11.8%	△0.2%	
営業利益	2,169	2,388	+219	+10.1%
営業利益率	11.3%	12.5%	+1.2%	
経常利益	2,137	2,622	+485	+22.7%
経常利益率	11.2%	13.8%	+2.6%	
四半期純利益	1,041	1,689	+648	+62.2%
1株当たり四半期純利益	84.42円	136.97	+52.55	

売上高/セグメント別(前年同期比)

- 開発事業:0.1%増加 … 大学向けが増加、ハードメーカー(Sler)向けが減少
- 運用・構築事業:0.3%減少… 大学向けは堅調、企業向けが減少
- 販売事業:1.8%減少 … AIT、SRAの機器販売は増加、海外子会社が減少

単位:百万円

	2021年3月期 第2四半期実績	2022年3月期 第2四半期実績	差 異
開発事業	9,907	9,913	+5
運用・構築事業	2,692	2,684	△7
販売事業	6,555	6,440	△115
合 計	19,155	19,038	△117

売上高/顧客業種別（開発事業、運用・構築事業）

単位：百万円

	開発事業		運用・構築事業	
	2021年3月期 第2四半期実績	2022年3月期 第2四半期実績	2021年3月期 第2四半期実績	2022年3月期 第2四半期実績
製造業	4,023	4,050	670	630
通 信	163	196	370	290
電力・ガス	451	437	1	19
金 融	2,646	2,708	659	689
生損保	198	204	96	87
流 通	543	398	14	0
大学等	275	367	489	475
サービス	1,114	1,166	168	84
その他	490	381	221	386
合 計	9,907	9,913	2,692	2,684

販売事業：前年比 減少(△1.8%)

AIT 販売事業 売上高

単位：百万円

2021年3月期 第2四半期実績	2022年3月期 第2四半期実績	差異
5,084	5,257	+173

◎複数の大型案件あり

SRA 販売事業 売上高

単位：百万円

2020年3月期 第2四半期実績	2021年3月期 第2四半期実績	差異
593	599	+6

SRAOSS 販売事業 売上高

単位：百万円

2020年3月期 第2四半期実績	2021年3月期 第2四半期実績	差異
1,000	705	△294

◎コロナ影響あり

参考：グループ会社実績

単位：百万円

		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期
		第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期
SRA	売上高	9,438	19,880	8,969	19,093	9,169
	経常利益	1,692	3,561	1,012	3,285	1,869
AIT	売上高	6,416	14,230	6,355	12,367	6,266
	経常利益	759	1,405	721	1,403	676
ソフトウェア・サイエンス	売上高	1,352	2,744	1,119	2,370	1,299
	経常利益	154	355	83	260	154
SRA西日本	売上高	527	1,277	605	1,333	592
	経常利益	43	193	126	235	99
SRA東北	売上高	650	1,602	549	1,375	581
	経常利益	121	294	101	259	100
SRAアメリカ SRAヨーロッパ	売上高	683	1,304	556	985	524
	経常利益	82	175	49	149	96
SRA OSS	売上高	1,279	2,497	1,000	1,889	705
	経常利益	△321	△368	△32	△73	△54
その他の子会社	売上高	711	1,466	756	1,464	758
	経常利益	58	104	71	111	47
子会社合計 (SRAを除く)	売上高	11,623	25,122	10,943	21,787	10,728
	経常利益	899	2,160	1,120	2,345	1,120

青：前年同期比で増

- 以前から行ってきたアカウントマネージャー制により、コロナ禍でもお客様の身近で営業活動が可能
→「既存顧客」からの引合いは堅調
- ニューノーマルへの対応
 - 「運用・構築」では、テレワーク対応、クラウド対応需要もあり堅調に進捗
- 全体として、コロナ禍における直接的な影響(テレワーク、自宅待機)は引き続き限定的
- 半導体不足やチャイナリスクもあり、一部の製造業やサービス業では、厳しい見通しは依然として継続
- 営業活動は回復基調にあるものの、受注結果にはまだ結び付き難い

当社は、2021年10月7日開催の取締役会において、株式会社東京証券取引所の新市場区分として「プライム市場」を選択し申請することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件は 2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、「プライム市場」の上場維持基準への適合を確認しております。

今後は株式会社東京証券取引所が定めるスケジュールに従い、新市場区分の選択申請に係る所定の手続きを進めてまいります。

今後の取り組み

受注の確保／高収益ビジネスへのシフト

〈課題〉

- ・案件不足による売上高の伸び悩み
- ・高収益成長領域での更なる案件拡大

〈今後の取り組み〉

- ・更なる案件確保への注力
- ・高収益成長領域での受注拡大
- ・コロナ長期化に伴う新たな成長領域での取り組み

高収益成長領域での案件拡大

- クラウドビジネスの拡大:
 - マネージドサービス(運用、監視、障害対応)
 - クラウド構築サービス
 - クラウドネイティブ開発
- AI、Analytics、IoT等のDX領域技術への注力
 - IBM Watson、SPSS、Maximo
 - ⇒JUDGE!、ToDo監視などAI応用ソリューション
 - ⇒AIチャットボットシステム(病院:遺伝診療科)

テレワークに伴うソリューション

- 帳票・ワークフロー: P-CON、DataDelivery、FiBridge II
- エンドポイントセキュリティー: FFRI yarai

アドバンスクラウドエンジニアリング事業部(ACE)の設立

- AWS認定資格者 41名(3月)⇒**63名**(10月)
- 事業部横断プロジェクト、顧客数の増加

粗利益・営業利益の確保／収益性の向上

方針：着実な粗利益・営業利益の確保を進める
収益性向上施策は成果が出ている ⇒ 更なる推進

単位：百万円

年度	2019(上半期)	2020(上半期)	2021(上半期)
粗利益	4,483	4,468	4,626
営業利益	2,069	2,169	2,388
経常利益	1,957	2,137	2,622

「高収益ビジネスへのシフト」をさらに推進すると共に
下記の施策にも注力する

- ・徹底したリスク管理・販管費の抑制
- ・納期厳守・高品質・生産効率向上(ツール活用)
- ・不採算／低採算プロジェクトの撲滅

株主還元の充実

■1株当たり配当金

・2020年3月期:110円
(普通配当110円)

配当性向 - % 配当利回り 5.1%

・2021年3月期:120円

中間配当金:40円+期末配当金:80円
(期末配当 当初計画比10円増配)

配当性向 48.2% 配当利回り 4.4%

・2022年3月期:120円(計画)

中間配当金:40円(確定)+期末配当金:80円(計画)

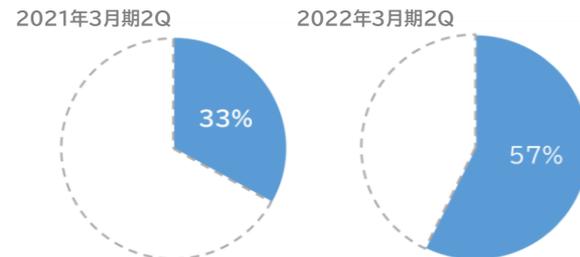
配当性向 50.2% 配当利回り - %

■連結 ROE 10%以上を持続的に確保

・2021年3月期:14.5%

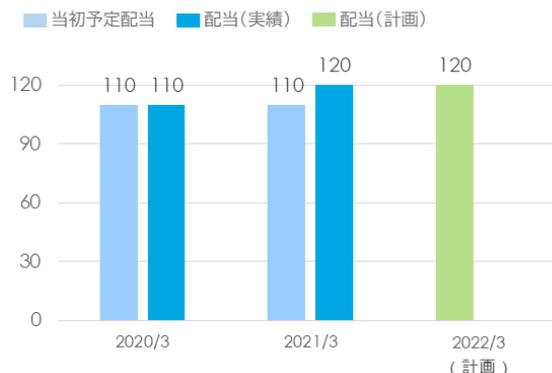
・2022年3月期:13.4%(予想)

親会社株主に帰属する四半期純利益の進捗率



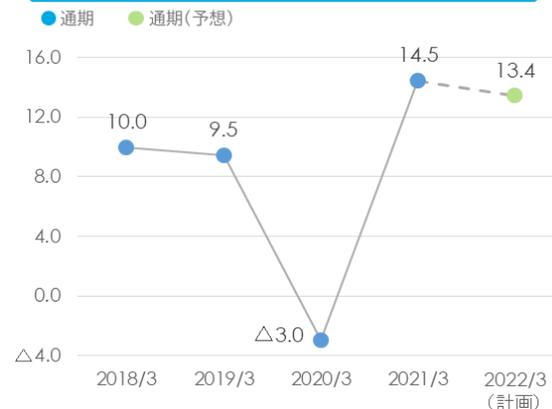
1株当たり配当金

(単位:円)



ROE(自己資本当期純利益率)

(単位:%)



2022年3月期 計画

単位:百万円

	2022年3月期 計画
売上高	42,000
粗利益	10,000
粗利益率	23.8%
販売管理費	4,940
販管費率	11.8%
営業利益	5,060
営業利益率	12.0%
経常利益	4,760
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,950
1株当たり当期純利益	239.13円
1株当たり配当金	120円(普通配当)

(注) 2022年3月期計画は、新型コロナウイルス感染症の収束時期を合理的に見積もることができないため、確度の高い業績予想を算出することは難しく、現時点で想定できる影響額のみを踏まえたものとなっています。今後の新型コロナウイルス感染症の収束状況により、業績予想を変更する可能性があります。

「技術のSRA」として
次の50年を創る

株式会社SRAホールディングス IR・PR室

irpr@sra-hd.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提としており、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。